



toolbox SHOWROOM



toolbox プロダクトを
実際に確認可能

toolboxが扱う多岐にわたるプロダクトを、実際に見て確認できるショールーム。バーツ単体の展示だけでなく、まさに「パーム」として作り込まれている場所もあるので、家を建てる前に妄想を爆発させるには最高の場所。訪問は予約制なので、Webサイトの予約フォームから事前に申し込みが必要。
www.r-toolbox.jp/ex/showroom/



使用したい床材を落とし込んだ図面がチカラ。仕事場は背面を重視で温かいのプラン。2階の子供部屋などは北側で採光が弱いので、部屋が明るくなるようにクリアをチョイスしている。

エー・ディーアンドジー 03-5315-3519 www.adandc.jp



塗装前

**施工は簡単!
塗って拭くだけ**

パッケットフローリングは無塗装での納品となるので、「オイルも試してみます?」とtoolboxさんに説明されるがままオイル塗布も体験。大変な作業かと思いつや、お墨書きされた「ルビオ」は塗つ抜くだけの簡単さで良い意味で拍子抜け。これはパッケット買うかも?

仕上がり比較

今回試したのはブラウンとピュアの2色。無塗装の物に比べてパッケットならではの柄が際立っているのがわかる。塗布して乾燥を待ち、空拭きすれば作業は完了。材料的にこだわり透徹の「ルビオ」は、防水、防湿性も高いのかな。

**toolboxオススメの床用オイル
Rubioって知っていますか?**

Rubioモノコートとは?

ルビオモノコートが優れているのは、1度塗りで仕上げるところ。塗り重ねが必要なく、素人が塗ってもうらしく同じ色調で揃ってくれる。重ねた油ペースの天然素材で出来ているタイプ。人生最大の買い物である“家”でも、こればかりはビンビンと反映させていった結果、掛かる金額がケタ違いなので金銭感覚がパックできました。

茶に口を付けても寝られない日々が続いたほどだった(嘘)。
その懶ましさの根源は、家もアメリカっぽく作れるの? ということになりました。身なりに関しては、アメリカに住んでる人が聞いてはアメリカっぽさを反映させるのがなかなか難しいんだ。
もちろん日本でアメリカ住宅を手掛けている工務店は沢山ある。しかし少なからず海外でアメリカの人々が暮らす住宅に何度もお邪魔したことのある身からすれば、青の日本式。アメリカ式住宅。大きなボックスとバームツリーだけ似合う貸しボックス屋の光景のアメリカを切り取ったものもあり、そんなビーチスタイルに建つミリオン\$物件の縮小版の家を日本で建てるのも「何か違う

1 toolboxのショールームで 部材をリサーチ!

悩ましいフローリング選び

リノベ後は全部屋フローリング敷きにするので、板の色味や質感には拘りたいところ。部材だけを見て部屋全体の姿を想像するのは、妄想力が問われる!

無垢の
フローリングを
リーズナブルに
買いたい!

フローリングは絶対に無垢材で良かったのだが、高い物も価格が天井知らず。しかしtoolboxで販売している「無垢無垢フローリング」はなんと3980円…というコストの良さ。しかもウレタン塗装でメンテフリー!



パッケットも
導入しちゃう?

LDKは壁が無く組長い間取りになるので、床材で上手くバース感を強調できたら面白いなと思っていた所、現場でパッケットフローリングをお勧めされた。予算的にはお高めになるが、クラシック感も含めて好みかも……。



家の中身を決めるのは 外側よりタイヘンだ!

1985年築の昭和丸出しな実家を、手放すのではなくリノベしようという企画。カスタムカーの世界でお馴染みの“レスト・モッド”的手法を家にも転用し、クルマ好きの理想であるガレージ住宅を作り上げていきます!

PORN SUZUKI'S
HOUSE
RENOVATION
PROJECT
#03

Text&Photo/Takayoshi SUZUKI

前回までの鉛木造

調査解体をして
見積り額金が確定

昔から。いつか家を建てることが妄想し続けて生きてきた。あんな風にしてこんな風にして妄想するは楽しい行為だったが、その一方で実際に家を建てるようになったら細部にまでこだわりすぎて、途中で收拾が付かなくなつて気が狂うんじゃないか、と自分で思つたりもした。神は細部に宿る。というか、家といいう巨大な部品の集合体全てにこだわりを反映させるのは並大抵の事ではない。クルマにおいてはこだわりを反映させ、トロフィーを獲るようなカスタムカーを作ることが出来たが、果たしてそれができるのか。考えれば考えるほど不安になり、M-C-Mのバストローブを着て膝の上にヘルシヤ猫を乗せ、ブランデーを垂らしたフォートナム＆メイソンの紅



1986年度という古物件をベースに、壁を抜いてインナーガレージを作成。かがみ窓を設置。床の調査解体の結果、いけると判断。間取り変更と断熱層を盛り込んだ床面も施工。それに伴い見積り額金も確定。なかなかの金額に怯えつつ地元信金のドアを叩いた。

水まわりも着々とプランニング中

生活に関わる水まわりに関して、あちこちショールーム巡りをして着々と選定中。
水まわりに関しては、妻の意見を第一に決めています。これは大事なことなのです。

KITCHEN

タカラスタンダードのホーロー製がイイ感じ

キッチンは業務用ぱりのステンレス攻めで組もうかと思ったら、LDKのトータルイメージ的に「違うかな?」という感覚もあった。そんななか近所のタカラのショールームで見たホーロー製が、クラシカルで雰囲気がありつつスペックも高かったので一気に候補として急上昇。カラバリの少ないネックだったが、ライトグリーンはアメリカ。

BATHROOM

木目調の質感が決め手

お風呂はWeb上のシミュレーターで事前に検討できるので、徹底してらるる方針性を検討。バナ風呂は壁に使える木目の感じが良かつただけではなく、「スゴピカ浴槽」の排水、防音性能などにかくすがったのもポイント。人類はウコロ汚れとの戦いで勝利したのだ。

木目

BATHROOM SINK

幅が狭いなかで選定

洗面スペースがあまり広くないので、洗面台は限られた横幅の中から選んだ。鏡と同じバナなので、筋状でシャープなLED照明や木目の質感がおしゃれになってる。鏡の中が収納になっているので、細かいモノも収納可能。引き出しの奥行がないのだけ懸念事項。

TOILET

2Fトイレには洗面器も設置

洗面台は1F、LDKは2Fということで、2Fで洗面台もできるよう2FトイレはV型洗面台付きをプランニング。風呂選定の流れでミックロスコビニア材信者になっていたので、同素材を使ってるトイレも併記しないの採用。「激落ちバブル」も嬉しい機能だ。

スイッチは絶対に
アメリカンタイプ!

電気スイッチは、この上下にパチンと動かすアメリカンスイッチに対するのがマスト。toolboxでは多くの種類が揃っていたので、これを大量オーダーすることはこの時点で決定。プレートもプラスチックの2種類を用意済み。

こんなコンセントもあります

コンセントのフレームもアルミダイキャスト製の物が用意されていた。これをスイッチと挿すで使ったらカッコ良さげだが、やはり似合うのはガレージなどのハードなイメージの場所かも。

ダイカスト・トグルスイッチは
ガレージに?

こちらのスイッチは、プレート部分がアルミダイキャスト製という超厚な仕上がりるのが特徴。部屋使いではハードになり過ぎそうだが、ガレージで使ったら素直にマッチしてくれそうだ。

よな」というハナシなのだ。求めているは身の丈に合った、今のアメリカの空気感を反映した家なのだ。
しかし、そこに閑散して明快な答えが無いのも事実。LA近郊の住宅は大半が戦後50~60年前に建てられた物件で、家主が変わると好みを反映してリフォームを繰り返すので、これが最も複雑な住宅だ。
コレ。という明確なイメージが存在しない。また新築物件に関しては、イクのアメリカ住毛姿といつのは、どうにも描み所がないのだ。
地中海風。なデザインが多く、家具もオリエンタル調だったりIKEAだったりするので、個人的にストラタム。その姿勢が発展し、自分が家を建てるところになつたら、アメーラーの「ホームデポ」へ行き、そこでスイッチや電球や便器を買いまくって日本へ送る。という計画を立てた。アメリカン・スタンダードの便器にキンバーリー・クラークのペーパーホルダーを備えたアメリカ式便所を妄想し、新たな興奮と便意を覚えたが、フルリノベの見積書に書かれた現実的な金額

に宿る、という話に立ち返る。アメリカの家に入った時に「グッドくの瞬間」つまり家とどう大きなハコに向かって、アメリカ住宅、という明確なイメージが存在しない以上、そこを追求する手立ではない。そこで、神は細部に宿る、という話に立ち返る。アメリカの家に入った時に「グッドくの瞬間」ではないのか。それが家を建てる前の妄想段階で辿り着いた結論だった。
その妄想が発展し、自分が家を建てるところになつたら、アメーラーの「ホームデポ」へ行き、そこでスイッチや電球や便器を買いまくって日本へ送る。という計画を立てた。アメリカン・スタンダードの便器にキンバーリー・クラークのペーパーホルダーを備えたアメリカ式便所を妄想し、新たな興奮と便意を覚えたが、フルリノベの見積書に書かれた現実的な金額

その3 他にも色々 気になるモノが……

toolboxのショールームは、家造りに

片足突っ込んでいる人間にとってはまさに夢空間!

現物を直接見られるので、こちらの妄想をビンビンと刺激!

室内も
是非いいたい

個人的な「昔(へき)」として、なぜか昔から室内窓が大きめ。今回リノベではインテリアージュを室内各所から開けるようにしたので、室内も絶対良いらしい要素だ。押し出して聞くタイプなど、特にソノ。

ドアもアメリカっぽく
できるか……?

リビングのドアに関しては、大きめの窓付きを想定しているので、自作ヒンジやカーブなどモノをチラシ。今はこのリバウンドの内に他、何が見つからないが、モノとしてとにかくカッコイイ!

ウッドシャッターに一目惚れ!

照明はクラシカルにしたい
照明明るく漏らさずして
動く木製シャッターにいきたい
の、その木製シャッターをな
かにつけたのが、大きめのアル
ミスイッチ。同じ様、毎日触れる
部分はなるべくアメリカカッ
くしたい。

119